

誰もが住みたくなるまち 『じょうそう』を目指して

本市は、平成18年1月1日に水海道市と石下町が合併して、本年度10周年を迎えることができました。

この間、二市町が培ってきた歴史的・文化的な特徴を生かしながら一体感の醸成の実現のために、議員各位、関係機関各位のご協力を得ながら、歴代市長とともに努めてまいりました。

現在、地方自治体を取り巻く環境は、人口減少・超高齢化などにより、ますます厳しさを増しております。このような中、本市では、平成27年9月10日の関東・東北豪雨により、市域の3分の1にあたる約40平方キロメートルが浸水し、死者・負傷者などの人的被害や住宅被害をはじめ、農業・商業・工業などに甚大な被害を受けました。水害発生以来、国や県とともに総力をあげ、災害からの復旧・復興に取り組んでいるところでございます。

本年の3月には関係各位のご尽力により、将来の本市の発展に向けた力強い復興計画が策定されました。今後この計画に沿って、一刻も早く活気に満ちた常総をとりもどしながら、市民の皆さまが安心して暮らせるような施策の確立と実行に全力を傾注する覚悟でございます。

今回発刊の市勢要覧では、わがまち常総の10年のあゆみ・文化と歴史・常総ふるさと大使からのメッセージ・未来のビジョンについて紹介しております。また、別冊版として、災害の体験と災害から得た教訓を後世に残すとともに、今後のまちづくりに役立てるために、「平成27年9月 関東・東北豪雨 常総市災害記録 忘れない9.10」も発刊いたしました。

結びに、市勢要覧の刊行にあたりご協力いただいた皆さまならびに関係各位に対しまして、厚く御礼申し上げます。



常総市長
高杉 徹

平成28年3月

